

正 誤 表

2015/10/2

	ページ	箇所	現行 (誤)	訂正
「基本編」 テキスト	066	下から3行目	開口部の日射熱取得率は、 <b>ガラスのみ</b> の性能で評価します。	開口部の日射熱取得率は、 <b>ガラスと付属部材</b> の性能で評価します。
	087	図中 ②	一次エネルギー消費量=暖冷房+換気+給湯+照明+ <b>給湯</b> +家電-太陽光発電等	給湯がダブっているので削除
	088	下の計算式の分母	外皮面積の合計	外皮 <b>等</b> 面積の合計
「設計編」 テキスト	013	表 温水式暖房	・ <b>水</b> をつくる熱源機	・ <b>湯</b> をつくる熱源機
	021	上グラフのタイトル	暖房一次エネルギー消費量 (居室連 <b>億</b> 暖房) [MJ/年]	暖房一次エネルギー消費量 (居室連 <b>続</b> 暖房) [MJ/年]
	039	6行目	基礎高さがGL+400mm <b>以上</b> の場合は、	基礎高さがGL+400mmを <b>超える</b> 場合は、
	047	表	せっこうボードの参照欄:P18 <b>1</b>	P18 <b>2</b>
	053	表	せっこうボードの参照欄:P18 <b>1</b>	P18 <b>2</b>
	080	欄外	熱伝導率λ:資料編の表「2.材料種別の熱伝導率」(P181~183)	熱伝導率λ:資料編の表「2.材料種別の熱伝導率」(P181~184)
	081	欄外	熱伝導率λ:資料編の表「2.材料種別の熱伝導率」(P181~183)	熱伝導率λ:資料編の表「2.材料種別の熱伝導率」(P181~184)
	081	上図と計算式(5箇所)	<b>畳床</b>	<b>畳</b>
	081	計算式	λ畳床の値: <b>0.15</b> 床の熱貫流率Uの計算結果: <b>0.41</b>	λ畳の値: <b>0.08</b> 床の熱貫流率Uの計算結果: <b>0.36</b>
	081	最後から2行目	d <b>畳床</b> : <b>畳床</b> の厚さ:0.55[m]	d <b>畳</b> : <b>畳</b> の厚さ:0.55[m]
	081	最後の行	λ <b>畳床</b> : <b>畳床</b> の熱伝導率: <b>0.15</b> [W/(m・K)]	λ <b>畳</b> : <b>畳</b> の熱伝導率: <b>0.08</b> [W/(m・K)]
	103	5行目	FF暖房機【省エネルギー対策の有無および種類】→P10 <b>6</b>	P10 <b>7</b>
	122	フロー図	電気ヒーター温水器からの線: <b>うすいグレー</b>	電気ヒーター温水器からの線: <b>濃いグレー</b>
	123	3行目	JIS <b>効果</b> を入力	JIS <b>効率</b> を入力
	123	7行目	JIS <b>効果</b> を入力	JIS <b>効率</b> を入力
	164	●天井 表	吹込み用グラスウール18Kの参照欄:	P18 <b>1</b>
	164	●天井 表	せっこうボードの参照欄:P18 <b>1</b>	P18 <b>2</b>
	164	●外壁 表	せっこうボードの参照欄:P18 <b>1</b>	P18 <b>2</b>
	164	●床 表	押出法ポリスチレンフォーム3種b-Aの参照欄:P18 <b>2</b>	P18 <b>4</b>
	165	●ドア 表	スチールドアの参照欄:P19 <b>7</b>	P19 <b>8</b>
	165	●窓 表	窓aの参照欄:P19 <b>6</b>	P19 <b>7</b>
	165	●窓 表	窓bの参照欄:P19 <b>6</b>	P19 <b>7</b>
	165	●基礎 表	押出法ポリスチレンフォーム3種b-Aの参照欄:P18 <b>2</b>	P18 <b>4</b>
	170	上表 3行目	外皮平均熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> /K)]	外皮平均熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ・K)]
	176	群馬県	高崎市(倉淵村に限る)	高崎市( <b>旧</b> 倉淵村に限る)
	177	愛知県	<b>三好町</b>	<b>みよし市</b>
	180	福岡県	<b>筑上町</b>	<b>築上町</b>
	182	木質系壁材・下地材の熱伝導率λ	タタミボード:0.05	0.05 <b>6</b>
			A級インシュレーションボード:0.05	0.05 <b>8</b>
			シーリングボード:0.06	0.06 <b>7</b>
			パーティクルボード:0.16	0.16 <b>7</b>